五中だより

府中市立府中第五中学校
校長　酒井　　泰
令和２年８月１日　No.７

リセットする時間・・・

梅雨は、春から夏へと移り変わる中で、その前後の時期と比べて雨が多くなり、日照が少なくなる季節現象です。梅の実が熟する頃に降る雨から「梅雨」とか、また、この時期に黴（かび）が生じやすいことから「黴雨（ばいう）」と呼ばれるようになったそうです。

ところで、今年の梅雨は例年になく長く、関東甲信地方の梅雨明けが８月にずれ込むのは、平成１９年以来のことだそうです。４月以降、新型コロナ感染防止のための臨時休業が長らく続いたことで、まだ８月になったという実感がわきにくく、梅雨が明けないことにもさほどの違和感を感じない状況です。

学校は来週末の８月７日（金）に終業式を行い１学期が終了します。生徒は今学期、様々な場面で不便さを感じながらも、新型コロナ感染防止を第一に考え、学校での学習や係活動や委員会活動、部活動などに精一杯努力してきました。頑張っている今だからこそ大切にしなければならないことがあると思い、７月２０日(月)の放送による朝礼で生徒に次のような話をしました。

「先週、１学期の学期末考査が終了しました。３年生は９教科、１・２年生は５教科と変則的な実施でしたが、しっかりと準備をして臨んだことと思います。今日からテストの返却があると思いますが、できたところとできないところが明確になると思います。点数に注目するだけでなく、内容に注目してほしいと思います。できなかったところは、仕方ないことですが、ここでしっかりと復習し、きちんと理解しておくことが大切です。その努力を怠り、後回しにすると、結局分からないまま中学校生活が終わってしまうことにつながります。最悪の場合、そのツケは、入学試験の場で払うことになりかねません。『鉄は熱いうちに打て』という言葉があります。今やるべきことは、タイミングを逃さず取り組むことです。必ず、その努力は自分に良いこととして返ってきます。

さて、次に、少し異なった視点からお話をします。今、お話したことと、一見、矛盾すると思うかもしれませんが、聞いてください。それは、『緊張は長くは続かない。常に緊張しているといつかは、プツンと切れてしまう』ということです。皆さんは、この４か月の間、見ることができない、新型コロナウイルスと戦い続けて、様々な制約を受けつつ、生活しています。自分が、いつ感染するかわからない不安は、言葉に表すことができないぐらいの大きなプレッシャーになっていることと思います。常に緊張状態にあると言ってもよく、気持ちが休まらないだけでなく、身体の不調につながってしまうこともあるかもしれません。

そこで、１日のうちで、ほんの少しで良いので、『何も考えず、ボーッとする時間』をとってみてはどうでしょうか。脳も身体もリラックスして様々な機能を一時的に休ませることが重要だと思います。リセットする時間を設けることで気持ちも、身体も落ち着くことができると思います。これは意識的に行わないとできないことだと思います。必ずやりなさいということではありませんが、『自分でもなぜか分からないけど、イライラしている』とか、『全然やる気が起こらない』などという状態に陥った場合に試してみてはいかがでしょうか。

短い夏休みまで、あと３週間です。この後は、梅雨も明け、熱くなるはずです。熱中症にも気を付け、１学期のまとめをしてほしいと思います。」

校庭の草取りが行われました

７月２日（木）の午後、部活動の生徒と教職員で「校庭の草取り」を行いました。臨時休業が３か月におよぶ中、自然の力はものすごく、あっという間に広い校庭は雑草のパラダイスになりました。校庭の隅の方からじわりじわりと浸食され始め、気が付くとトラックの中やテニスコートのど真ん中にも草が生える状況となり、少し大げさに言えば、薄い緑色の校庭となってしまいました。授業が再開され、体育の授業等を行うにも支障がある状況となったため、この日、「校庭の草取り」を実施しました。今回は、例年実施している「草刈りボランティア」とは異なり有志を募るのではなく、部活動の生徒たちの協力を得て教職員とともに実施しました。当日は、天候に恵まれ、とても暑く作業は大変でしたが、生徒たちは気持ちよく、張り切って活動していました。先生から言われたので、「仕方なくやる」という生徒はおらず、楽しそうに黙々と作業をしてくれる姿に接すると、「本当に五中生は素晴らしい」と誇らしく感じます。

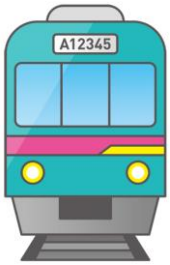
朝型の生活

「ｗｉｔｈ－ｃｏｒｏｎａ」と呼ばれる、新型コロナと共存しながら感染防止を図っていく生活が続いています。世の中の企業ではリモートワークなどと言われる在宅勤務が当たり前の世の中となってきています。それでも出社しなければならない人々は、時差通勤や自転車や自家用車を利用した通勤などで「三密回避」を図っています。

私は、以前から自宅を早めに出るようにしていましたから、満員電車に乗ることはなく、たいていは座っての通勤を続けています。しかし、時差通勤で多くの人が、早朝の電車を利用するようになり、私にとってはいつもの電車を利用すると、混雑するようになりました。

これは皆さんが「三密回避」のために工夫していることなので文句を言えることではないのですが、ＪＲ埼京線の十条駅発、朝５時３０分前後の電車の座席が埋まっている状況というのは、驚きのレベルです。私の記憶では、ガラガラで座っている人は一車両にわずかしかいなかったのです。

年齢を重ねると自然と早起きになると言われます。年を取ると寝ていられないという人もいます。私はその例にもれず、毎朝４時１５分には起床します。中学生にとっては、信じられない時刻だと思いますが、私にとっては普通のことであり、目覚まし時計に起こされるまでもなく、不思議とセットした時刻の数分前に自然に目が覚めてしまいます。この瞬間、「自分が年を取ったのだ」ということを実感します。



「早起きは三文の得」と言われ、早寝早起きは健康にも良いことなので、こういう生活も良いことなのかもしれませんが、社会全体が朝型に変化してきているのではないでしょうか。こうした状況はいつまで続くかわかりませんが、私のように朝早く行動することが苦でない人は良いのですが、無理をして行動を朝型にシフトしている人にとってはかなり辛い日々となっていることだと思います。早く新型コロナの感染が終息することを祈るばかりです。

1・2階教室・廊下の修復工事について

昨年１０月の台風１９号による浸水被害により甚大な影響を受けた本校ですが、１階の２年生の昇降口付近の廊下、及び２階の２年Ｂ組・Ｃ組教室の床、２年教室前の廊下等の修復工事を実施します。８月１７日（月）から２１日（金）までの夏季休業期間中に行いますが、三者面談や部活動などにおいて、一部ご不便をおかけするかもしれませんがご理解の上、ご協力をお願いします。今回の工事も施工業者と綿密な打ち合わせを行い、生徒の安全確保を第一に実施いたします。なお、今回の修復工事を含めて都合７期にわたり実施してきた修復工事は終了することになります。保護者や地域の皆様には、長らくご心配をおかけしましたが、ようやく全面復旧を果たし、施設・設備面での制約なしに教育活動が行えることとなります。今後とも学校施設の維持管理に万全を期してまいりますので、これからもご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

学校閉庁日について

今年度も府中市教育委員会の方針を受け、夏季休業期間に３日間、「学校閉庁日」が設けられます。本校では、８月１１日（火）、１２日（水）、１４日（金）の３日間が該当し、この日は、学校の全ての教職員が学校に出勤いたしません。この３日間に緊急な連絡が必要な場合には、府中市役所にご連絡いただきたいと存じます。学校の管理職に連絡が入ることになっています。

悩みごとの相談について

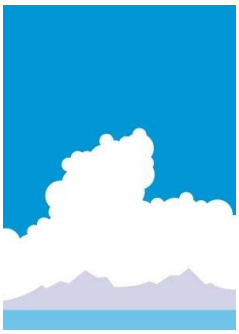
生徒たちは学校生活を過ごす中で様々な悩みを抱え、それを解決しようと努力します。悩みを自分一人では抱えきれない場合、解決への方策を教員や保護者など大人の助言を求めることも多いことと思います。特に今年は新型コロナによる様々な状況の変化が生徒の学校生活や健康面で影響を与えていると心配されます。また、いじめなど、生徒にとって心も身体も傷つける大きな問題の場合は、速やかに対応することが重要です。もし、お子様が悩んでいるなと感じられた場合には、ぜひ、学校に相談していただきたいと思います。夏季休業中には三者面談も行われます。これらの機会も有効に活用していただければ幸いです。なお、いじめをはじめ、学校生活における課題に関しては、学校に相談していただくことが第一ですが、状況によっては、話しにくい場合もあると思います。そのような時には、次の機関が様々な相談に応じていますので、ご紹介いたします。

○東京都いじめ相談ホットライン
　０１２０－５３－８２８８（２４時間受付）
○２４時間子供ＳＯＳダイヤル＜全国統一ダイヤル＞
　０１２０－０－７８３１０（２４時間受付）
○ヤングテレホンコーナー＜警視庁少年相談室＞
　０３－３５８０－４９７０（２４時間受付）
○よいこに電話相談＜東京都児童相談センター＞
　０３－３３６６－４１５２（平日９：００～２１：００　土日祝９：００～１７：００）
○府中市教育センター　教育相談
　０４２－３６０－４１８８（平日９：００～１７：００）
○こころの電話相談室＜東京都立小児総合医療センター＞
　０４２－３１２－８１１９（月～木９：３０～１１：３０　１３：００～１６：３０）
○こころの電話相談＜東京都立多摩総合精神保健福祉センター＞
　０４２－３７１－５５６０（平日９：００～１７：００）

前期学校評価について

例年、１学期末に保護者の皆さまに前期の学校評価をお願いしておりましたが、今年度は、新型コロナウイルスの関係で臨時休業が続き、学校行事も中止、学校公開もできないことを踏まえ、実施を見送ることにしました。生徒に対しては、授業への取組意欲や理解の度合い、学校生活の意識を把握するために実施いたします。結果については、２学期になってからお知らせします。

海浜事故防止について



今年度の夏休みは２週間と短い上に、新型コロナウイルス感染防止の関係で旅行等には行く機会も少ないかもしれません。報道によると、「三密回避」の徹底が図りにくいことから多くの海水浴場も今年度は閉鎖するとのことです。そのため、通常ならどこの海水浴場にも配置されている監視員等の「遊泳の安全」のための人員が、今年度は配置されないとのことです。このことについて十分理解をしていただき、遊泳禁止の海水浴場での遊泳はしないこと、禁止されていない場所でも監視員等が配置されている安全な場所であるかの確認をすることなどの徹底をお願いいたします。くれぐれも水の事故に遭わないようにご注意ください。

府中市総合防災訓練について

少し先の話ですが、１０月１８日（日）に府中市総合防災訓練が開催される予定となっています。本校は、サブ会場となり「避難所開設訓練」を実施することになります。当日は、実際に地域の皆さまに避難所運営の訓練や避難する体験をしていただくことになる予定です。

運営の主体は府中市の防災危機管理課ですが、学校も協力して当日の運営を行うことになります。

１学期を終えて

来週の金曜日の８月７日で１学期が終わります。今学期は新型コロナウイルスの影響で、長期にわたる臨時休業、分散登校、学校行事や部活動の大会やコンクールの中止など、これまで誰も経験したことがない異例の学校生活でした。

授業が再開されたのちも、いわゆる「三密」を避けるために、学習活動自体もこれまでとは異なったルールで行われ、様々な制約のある中での授業でした。毎日の生活で繰り返される消毒やマスクの着用などにより、確実に学校生活が変わりました。これまで学校生活で当たり前と思っていたことも、できなくなることが多く、コロナ感染に対する不安とともに様々なフラストレーションとの戦いの日々であったのではないでしょうか。

そのような中でも生徒たちは、学校再開後、元気に学校生活を送ることができました。毎日の学習に真剣に向き合い、係活動や委員会活動にも熱心に取り組んでくれました。生徒会本部が、「五中をよりよくするための意見箱」という取組を実施し、多くの生徒が意見を出し合い、実現の可否についても生徒と教員が検討しました。生徒の自主性が育ってきていることと、それを育てようとする教員の努力に接し、誠に心強く感じました。こうした取組が根付くことにより、生徒たちが一層、「五中生でよかった」と実感し、日々有意義な学校生活を送ることができるようになると期待しています。